

インタビュー調査に関する研究説明書（同意書は別紙）

題：「イギリスで発達に気がかりのある子どもを育てる邦人保護者の現状と支援ニーズ」

1. 研究の意義・目的

本研究は、イングランドに在住する、または在住した経験のある日本人家庭のうち、発達に気がかりのある子どもを育てる保護者が直面している困難や支援ニーズを明らかにすることを目的としています。海外において日本の支援制度を受けにくい家庭が、現地支援制度を利用する上で直面する課題や期待について保護者の視点から把握し、今後の支援体制構築に資する基礎資料とすることを目指します。

2. 研究の方法および期間

研究方法：原則として対面でインタビュー調査を行いますが、やむを得ない事情がある場合はオンライン（Zoom）での実施も可能です（対面インタビューにてご協力いただける方を優先させていただきます）。現在日本に一時帰国中の方は、研究者の住居の都合上オンラインでの実施とさせていただきます。内容はICレコーダーで録音し、逐語録に記録・分析いたします。

実施期間：2025年9月から10月の間を予定

日程・場所：研究協力者のご都合に合わせた日時・場所を設定いたします。

所要時間：1時間程度を予定しています。

募集人数：5～7名程度

応募方法：[Google フォーム](#)より必要事項を記入の上ご応募ください。

3. インタビュー調査の項目について

インタビューでは、以下のようなことについてお話をうかがいます。

イギリスでの子育てで感じていること/困っていることや、よかったと感じている支援のことなど

あらかじめ質問は用意していますが、お話ししやすい雰囲気の中で、自由に語っていただけるように進めてまいります。答えたくない質問には無理にお答えいただくなくても構いません。

4. この研究の対象となる方について

イングランド在住の日本人で、現在発達に気がかりのある**未就学児**または**学童期**のお子さん（**0歳-Year6**）を育てている、または育てた経験のある以下の2点をいずれも満たす方を対象としています。

- (1)子どもの発達について、日本もしくは英国の健診や医療機関・教育現場などで指摘を受けた経験がある、または保護者自身が発達に気がかりを感じている方
- (2)帰国予定がある長期滞在者（例：保護者の海外赴任、留学など）もしくは帰国予定が定まっていない、永住予定の方々

4. 研究の同意と撤回について

本研究への参加はご本人の完全な自由意思に基づくものです。本研究についての説明をお読みいただき、また研究者からの説明を受けたうえで、研究の内容をご理解いただき、参加してもよいとご判断された場合には、同意書へのご署名をお願いいたします。研究の内容について説明を受けた後に参加をお断りいただくことも可能です。参加を辞退される場合は、研究者に口頭またはメールにてその旨をお知らせください。また、一度ご参加に同意された場合でも、研究の途中で参加を取りやめることができます。参加を取りやめたことによって、不利益を被ることは一切ありません。同意書記入後に参加を正式に取りやめる場合には、所定の「研究参加撤回申請書」にご記入をお願いしております。分析の関係上、11月以降に参加を中止される際には、それまでに収集されたデータを今後の分析対象として使用してよいか、あるいは廃棄を希望されるかについて、ご意向をお伺いします。ご意向に応じて、データの削除・破棄を行います。

5. 研究に参加することにより期待される利益について

本研究を通じて、イギリスに在住する日本人保護者の育児における困難や支援ニーズに関する貴重な知見が得られると考えております。これにより、今後同様の状況にある家庭に対する支援体制の構築や、社会制度の改善に向けた提言の基礎資料となることが期待されます。したがって、本研究へのご協力は、将来的に同じような困難を抱えるご家庭への支援につながる社会的意義を有しているといえます。ご自身の経験や思いを語っていただくことが、他の保護者や支援者にとっての大切な情報源となり、よりよい社会づくりの一助となる可能性があります。

6. 研究への参加により考えられる不利益、危険性の予測と安全性の確保に対する配慮

本研究へのご参加にあたって、身体的な危険が生じることはありません。しかしながら、インタビューの中で過去のつらい経験を思い出される可能性があります。そのような場合には、無理にお話しいただく必要はございません。お話しになりたくないと感じた内容については、遠慮なくお申し出ください。また、お話しすることがつらくなった場合や継続が困難と感じられた場合には、いつでもインタビューを中断することができます。その際には、参加の継続について無理にお願いすることはいたしません。

インタビューを中断された場合には、いったん本研究からのご辞退という扱いとなりますが、改めて参加をご希望される場合には、研究者までご連絡ください。ご意向を尊重

し、再度インタビューの機会を調整させていただきます。

7. 守秘義務および個人情報・研究データの取り扱いについて

本研究では、研究協力者の方からお話いただいた内容や逐語録を研究目的以外に用いることはなく、守秘義務を遵守いたします。インタビューで得られた内容は録音した後、逐語的に文字起こしを行います。その際には、個人情報を保護するために、氏名や住所、所属先、家族構成など、個人が特定される情報はすべて削除または符号に置き換えて匿名化し管理いたします。

録音はICレコーダー等により行いますが、逐語録が完成次第、録音データは速やかに削除または物理的に廃棄いたします。また、符号と氏名の対応表は、逐語録と分けて、それぞれ別の記録媒体に保存し、いずれにもパスワードを設定して厳重に管理いたします。これらの記録媒体へのアクセスは、研究者本人および指導教員のみに限られ、第三者の閲覧は一切ありません。同意書などの紙媒体についても、鍵のかかる棚にて厳重に保管いたします。匿名化された研究データは、研究者の責任の下、大学の規定に従い10年間保管したのち、同意書を含めたすべてのデータを適切に廃棄いたします。なお、同意書においても本学の規定に従い、最低10年間保管いたします。

本研究の成果は、卒業論文として大学に提出いたします。学会発表や学術誌等で公表される可能性があります。個人が特定されることのないよう十分に匿名性に配慮して情報を取り扱います。

8. この研究の資金と利益相反について

利益相反とは、研究者が企業や団体などから経済的な利益（謝金、研究費、株式の保有など）を受け取ることにより、研究の計画・実施・結果の解釈や報告に影響を及ぼす可能性がある状況を指します。本研究においては、特定の企業や団体からの資金提供、物品の無償提供等は一切受けておりません。そのため、本研究に関して、研究者個人および研究組織全体における利益相反は存在しません。

9. 研究成果の公表について

この研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌などに発表する可能性があります。その場合はあなたのプライバシーに十分に配慮しますので、個人を特定できる情報が公表されることはありません。

10. 研究に関する資料の開示について

ご希望があれば、他の参加者の個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、本研究の研究計画書や研究方法に関する資料を開示いたします。

また、本研究に関してご不明な点やご質問がございましたら、遠慮なく研究者まで

お問い合わせください。

10. 研究に伴う参加者の方への謝礼等

研究に伴う参加者の方への謝金等 インタビュー調査に協力してくださった方には、謝礼として£15 の Amazon ギフト券（日本でインタビューに協力していただいた方には 3000 円分）をお支払いいたします。また、インタビューの際に交通費が発生した場合、公共交通機関使用時に発生する料金を換算し現金にて別途お支払いいたします。

11. 研究者および問い合わせ先について

本研究は、東北福祉大学 通信教育部 社会福祉学科 4 年の兒玉沙紀が実施しております。研究の内容やご不明な点につきましては、下記の連絡先までお気軽にご連絡ください。

【研究実施者】

兒玉 沙紀（所属機関：東北福祉大学通信教育部 社会福祉学科 4 年）

E-mail : tw20752@tfu-us.tfu.ac.jp

【指導教員】

三浦 剛（所属機関：東北福祉大学通信教育部 部長）